

学校教育計画（平成28年度～平成31年度）

学校名	平塚ろう学校	課程・学科 教育部門・学部	聴覚障害教育部門
-----	--------	------------------	----------

1 学校のミッション

県内唯一の聴覚障害教育部門の特別支援学校として、幼児・児童・生徒の自立と社会参加に向け、乳幼児期からの早期の相談・支援をはじめ、幼稚部、小学部、中学部、高等部まで一貫した教育を行うとともに、高等部では専門教育を主とする学科、専攻科では、特色ある職業教育の充実に取り組む。

また、その専門性を生かし、全県にわたる聾学校や難聴学級、通級指導教室における聴覚障害教育のネットワークの中心としての機能を充実させ、それぞれの地域での自立と社会参加のための支援に取り組む。そして、神奈川県手話言語条例の制定による県民のろう教育に関する関心の高まりを踏まえ、手話等の普及促進を図る。

2 学校教育目標

- 生命の尊さを知り、自己を大切にするとともに、他者を敬い協力し合う心を養う。
- 人との関わりを大切にし、信頼に基づく幅広い人間関係を築く態度と心を養う。
- 社会生活に必要なことばを習得し、社会人として円滑にコミュニケーションをとることのできる力を育む。
- 成長の時期に応じた基礎学力を習得し、自主的で創造性豊かな社会生活を営むことのできる力を育む。
- 自立心と協調性を養い、勤労に意欲を持ち、自信を持って社会生活を営むことのできる力を育む。

3 計画策定時点での課題

- 保護者アンケートの評価によると、「①幼稚部から高等部までの各学部、学年間が連携しながら、一貫した日本語指導の推進に取り組んでいるか。」「②乳幼児相談から高等部まで各学部が連携して指導の一貫性による基礎基本の習得を図っているか。」の二つの項目の評価が低い。そこで、子ども一人ひとりの獲得している日本語の能力に応じた指導を、幼稚部から高等部にかけて系統的に行っていく取組みを充実させる必要がある。
- 進路指導に関して、大学進学を目指す普通科、職業教育の充実した職業科というように、それぞれの科の目的が明確にあるが、それぞれの目的に応じた生徒・保護者への情報提供や授業の工夫が十分にできていないため、大学進学に関する情報が少ない、また就職にむけたキャリア教育をもっと充実させてほしい、といった声がある。そこで、こうした要望に応じていく必要がある。

4 4年間の目標と主な方策

	視点	4年間の目標	目標達成に向けた主な方策
1	教育課程 学習指導	<ul style="list-style-type: none"> ○幼稚部から高等部にかけての指導の系統化を進め、日本語の習得をより確かなものとする。 ○学習の理解を深めるための教材・教具の工夫を高める。 	<ul style="list-style-type: none"> ○一人ひとりの日本語の習得と定着を検証し、それぞれに応じた効果的な指導方法について研究をさらに進める。 ○情報機器の活用等、聴覚障害のある児童生徒にとって有効な手段で教材・教具を提供する。
2	(幼児・児童・) 生徒指導・支援	<ul style="list-style-type: none"> ○幼児児童生徒の発達段階に応じた安全や健康、食育の指導に取り組み、安全で健康な学校生活を過ごす。 ○幼児児童生徒が主体的に学校生活を過ごし、ルールやマナーを自ら学ぶことができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○医療ケア等や食形態・アレルギー等配慮の必要な幼児児童生徒の情報共有を十分行い、ケース会議を適宜実施する。 ○教育活動全体をとおして、社会性や集団生活のスキルを身につけるよう指導する。
3	進路指導・支援	<ul style="list-style-type: none"> ○幼稚部から高等部まで一貫したキャリア教育計画に基づく指導により就職・進学実績を伸ばす。 ○生徒・保護者のニーズを踏まえ、適切な進路情報の提供を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ○本校の卒業生や社会で活躍する成人聾者の話を聞くなど、社会人になった自分のイメージを持たせる。 ○普通科・職業科それぞれに、進路学習の内容の充実を図るとともに、進路先の情報提供を十分に行う。
4	地域等との協働	<ul style="list-style-type: none"> ○子どもと保護者のニーズに応じたきめ細かい乳幼児相談に取り組む。 ○幼稚園・小学校・中学校・高等学校における相談支援を進める。 	<ul style="list-style-type: none"> ○乳幼児期に必要な支援に取り組むため、保護者支援及び関係機関との連携をさらに進める。 ○教育相談コーディネーターに加え、通級指導担当や専門職（言語聴覚士）によるチームで支援にあたる。
5	学校管理 学校運営	<ul style="list-style-type: none"> ○保護者との連絡を緊密に取れる体制を点検・整備し、安心して学校生活を送ることができるようにする。 ○事故・不祥事のない安全な学校づくりを目指す。 	<ul style="list-style-type: none"> ○緊急連絡網やメールを活用した情報提供に努める。 ○大規模災害に備えた準備を継続的に行う。 ○体罰や不適切な指導の防止に努める。 ○不祥事のない働きやすい職場作りに努める。 ○個人情報管理の徹底に努める。

